

## PII 日本語302・2008年・夏 シラバス

### 1. 教師<sup>きょうし</sup>

担任：ナズキアン	フミコ	Email:	fn2108@columbia.edu
松井久恵	まつい・ひさえ		hmatsui@Princeton.EDU
旭英子	あさひ・えいこ		eiko_asahi@hotmail.co.jp
中谷敦子	なかたに・あつこ		akko121@crest.ocn.ne.jp

### 2. 質問の時間

オフィスアワー：

ナズキアンフミコ	月一金	3時～4時
松井久恵	月一金	2時～3時

\*課外授業がある日もあるので、アポイントメントをとること。

### 3. 授業

セクション1	月一金	9時～12時	研修室7 / 大研A
セクション2	月一金	9時～12時	大研A / 研修室7

\*2週間したら教室を替(か)えます。

### 4. 教材

- 1) メインの教科書：コースパケット
- 2) 新聞記事（時々クラスで渡す予定）

### 5. 推薦辞書<sup>すいせん</sup>

- 1) 「日本語基礎文法辞典」 Makino, S. & Tsutsui, M. (1986). A Dictionary of Basic Japanese Grammar. Tokyo: The Japan Times.
- 2) 「日本語文法辞典(中級編)」 Makino, S. & Tsutsui, M. (1986). A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar. Toyo: The Japan times.
- 3) 「キャノン電子辞書」 WORDTANK SUPER

### 6. 学習目標<sup>もくひょう</sup>

全体：

- a) 様々な話題、例えば教育、宗教などについて、日本語で読み、それについて話し合う。
- b) 色々なジャンルの日本文学作品を読み、内容を鑑賞<sup>かんしょう</sup> (appreciate, enjoy)する。
- c) 日本のテレビドラマを鑑賞し、内容について話し合う。
- d) 興味があるトピックについて研究し、レポートを書き、それを発表する。

## 1) 話す

- 今まで勉強した文法や言葉をもっと効果的(effective)に使えるようになる。
- 接続詞(conjunctions)や「こ・そ・あ言葉」などを使って、まとまりのある(cohesive)内容を段落で話せるようになる。
- あいづちやフィラー(fillers)を使い、自然な会話を練習する。
- 少し複雑な状況(complicated situation)でも、日本語でコミュニケーションして問題を解決(solve)できるようになる。
- 場面に合わせて敬語やフォーマル、インフォーマルが使えるようになる。
- ACTFL Guideline で中級の上になることを目標にする。

## 2) 聞く

- 教師やクラスメートの言うことがよく分かるようになる。
- ドラマなどで話される会話の内容が分かるようになる。
- ACTFL Guideline で上級の下になることを目標にする。

## 3) 読む

- 知らない言葉や漢字ある読み物でも、大体の内容が推測(guess)できるようになる。
- 色々な読み物を読んで、知っている言葉や漢字の数を増やす。
- 単語の意味を自分で調べる時、適切な意味を選べるようになる。
- ACTFL Guideline で上級の下になることを目標にする。

## 4) 書く

- 接続詞などを上手にを使って、自分の考えや意見を、まとまりのある複段落(multiple paragraphs)で書けるようになる。
- 書ける漢字の数を増やす。
- ACTFL Guideline で中級の上になることを目標にする。

\*ACTFL Proficiency Guidelines

<http://www.sil.org/lingualinks/languagelearning/OtherResources/ACTFLProficiencyGuidelines/contents.htm>

## 7. 評価

1) 出席 (attendance)	5 %
2) クラス参加 (participation)	10 %
3) 宿題	15 %
4) 漢字単語小テスト	15 %
5) レッスンテスト	20 %
6) スピーチ	10 %
7) 期末試験	25 %
	100 %

\*クラスでよく発言しましょう。☺

\*\*ランゲージテーブルが5回あります。1回につき 0.1 ポイントもらえます。

## 8. 出席とクラス参加

- 授業には、毎回時間までに来なければいけない。
- クラスに積極的に(actively)参加しなければ、出席していてもクラス参加点はもらえない。
- 授業や宿題のために、クラスの外で毎日最低2時間の準備が期待される(be expected)。
- 授業に理由なく(without any reason)10分以上遅れた場合は、遅刻になり、3回の遅刻が1回の休みとして数えられる(be counted)。
- 理由なく休んだら、2回まで出席の点はなくなるが(1回目からクラス参加点はなくなる)、3回目からは、その日の出席とクラス参加が0点となる。
- 病気で休む時は、IFIEに電話で連絡すること。後で医者からの書類を提出した場合は、休みとして数えられない。

## 9. 宿題

- 内容質問の宿題
- 文法／言葉の宿題
- 宿題は授業の始めに提出する。
- ニュースの発表：ニュースを一つ選んで、クラスで紹介する。

<http://www.sabotenweb.com/bookmarks/newspapers.html>

- V+ (3pts.) よく考えて完成(complete)した宿題を、提出日の授業の始めに出した場合。
- V (2pts.) 完成していない宿題や、よく考えないでやった宿題を提出日に出した場合。または、完成した宿題を提出日の次の日(not by next class)までに出した場合。
- V- (1pt.) 2日以上遅れたが1週間以内に完成した宿題を出した場合。
- 0 pt. 提出日から1週間以内に提出できなかった宿題(点数がなくても必ず宿題は出しましょう)。

## 10. 小テストとレッスンテスト

- 病気などの理由で受けられない場合、事前に先生に許可(permission)をもらい、メイクアップの日を決める。
- 理由なく欠席(absence)や遅刻をして、テストが受けられなかった場合、メイクアップは受けられない。

### 11. 期末試験

話す試験と書く試験がある。詳しい内容は、後で説明する。

\* 中間試験はありません。

### 12. スピーチ (You have to complete this project in order to pass this course.)

- 自分の好きなトピックについてスピーチを書く。
- クラスで発表された物の中から3年生代表(representatives of our class)を選び、その人たちはプログラム最後のスピーチ大会に出る。